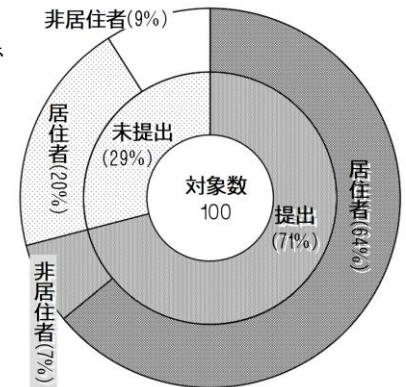


回収率71%、多数の提出＝関心の高さ

EV 充電設備のアンケート、ご協力ありがとうございました

2月9日現在の居住者と居住されていない所有者を対象に19日までの期間で、アンケートを実施しました。提出率71.0%の方々から回答を得ました。ご協力ありがとうございました。

一方、居住者と非居住者数名の方から提出いただけませんでした。「資料が多すぎて(難しくて)記入するのが面倒に感じた」「複雑で理解できない」「よく分からないので記入できない」「記入しにくい」「判断が難しい」などの感想も数名の方から寄せられました。



たくさんのご意見や要望、質問も寄せられました

アンケートの中では、充電設備設置などを中心にたくさんのご意見や要望も寄せられました。多くの皆様が真剣に、熱心にこの課題についてお考えだと感じ入りました。反面、ご意見等の中に、理解が不十分なところ、誤解されている部分や勘違いがあると思われる部分も見られました。

なお、ご質問もいくつか含まれていました。これについては、回答も含めて本紙の2面に掲載しておりますので、ご覧いただきたいと思います。



アンケートの集計結果だけから重要な判断を下すと、たまたま誤った結論に陥ることがあります。アンケートの集計結果はあくまで参考資料です。集計の詳細は、近日中に皆様にお届けする予定です。

分別は大事です！ペットボトルは、キャップとラベルをはずして…

暮らしのメモ帳

いつも、決められた場所に、きちんと分別し、収集日時を守ってゴミ出しをしていただき、ありがとうございます。まれに、右写真のようなことがあります。よく分からずにうっかりされたのでしょうか。資源物は、種類によって再生方法や再生製品がまったく違います。プラスチックとペットボトルを例に挙げますと、右表の通り、資源としての違いが分かります。混ぜてしまうと再生資源ではなく、ただの燃やすゴミ処理で無駄になってしまいます。



プラスチックの出し方は3通り

- ① 汚れがないプラスチックは、プラ資源
- ② おもちゃ、保存容器などのかたいプラスチック容器は、不燃ゴミ
- ③ マヨネーズ容器などの油污れのある柔らかい容器は、可燃ゴミ。

また、病虫害や異臭の発生、野鳥等による散乱などを防ぐため、ゴミ袋口は液もれなどがないようしっかりとめて、指定時間内に(前日に出さないで

ください)お願いいたします。



【資源物：種類による再生品の違い】

	再生される主な製品
プラスチック	コンテナ、ベンチ、土木建築資材、シート、化学原料、固形燃料化、セメント原燃料化、廃棄物発電、熱利用焼却、など
ペットボトル	自動車の内装材、吸音材、繊維、カーペット、制服、防草シート、卵パック、食品用の中仕切り、洗剤などのボトル、など

Q1: 充電設備を設置したとして、現在の駐車場の指定変更はあるのですか。⇒**A1:** 仮に10台充電設備(下図①～⑩)を設置したとします。充電設備を使用する方がいなければ現状のままです。使用する方いる場合は、下図①～⑩の駐車場に駐車することになりますので、その際は駐車場の交換が発生します。

Q3: 駐車場少なくなる? ⇒ **A3:** 少なくはなりません。現在と同じで、駐車場の10台または20台のスペースにコンセントを設置します。設置したスペースも現在と同様に駐車できます。

Q4:台数が増えた時も管理費支出0円で増設できますか？ ⇒**A4:**設置後に増設すれば管理組合の負担になります。

Q5: 希望者の使用でトラブルとなる問題がありますか？ ⇒ **A5:** 問題になるとすれば設備設置スペースの使用に関する事でしょう。トラブルがないようにすすめます。

Q6: 充電の時間？ ⇒ **A6:** 3kW 普通充電器を使用して20kW を充電した場合は、 $20\text{kW} \div 3\text{kW} =$ 約7時間になります。

Q7: 充電の使用料金？ ⇒ **A7:** 基本料金(2,000円/月) + 月の電気使用量に応じた契約料金(以下の5パターン)です。 Guest 48円/kW、Short 1,100円/月 (30kWまで。超過料金45円/kWh)、Middle 2,200円/月 (60kWまで。超過料金42円/kWh)、Long 4,400円/月 (120kWまで。超過料金39円/kWh)、Super Long 8,800円 (250kWまで。超過料金36円/kWh) ※1,000Km/月走行する場合の料金。 EV車 6.5Km/1kW、Long契約と仮定。1,000Km/6.5Km=154kW。 基本料金+月額利用料金+超過料金=2,000円+4,400円+(39円×34kW)=6,400円+1,326円=7,726円/月

Q8: 他の駐車場を借りているのに、今以上に駐車できなくなる。⇒**A8:** 設置しても駐車場は現在のままです。Q1、Q3の回答をご覧ください。

Q9:EV 車が10台を超える場合(時期)にどう考えればいいか?利用者の負担は?設置費用も発生するか? ⇒**A9:**設置台数は10~20台です。設置した場合10年後に業者との話し合いですすめることになります。

Q10:EV 車を購入した人が充電設備駐車場へ変更する際の手続きやどこになるかを決めるのは？理事会？ ⇒**A10:**駐車場の変更は、当人との話し合いで納得の上で決めています。最終判断は理事長です。現行と変わりません。

右図グレイの部分(①～⑩)に設置する案です。あくまで、計画です。もし、20 台設置となると、この他のスペースにも設置することになります。

壁に充電器(コンセント)を設置することになりますので、設置後も普段の駐車と同様に使えます。

